

マンモグラフィ、エコーに加え 新ボリウムMRIやPETで より高精度の乳がんの診断を実現

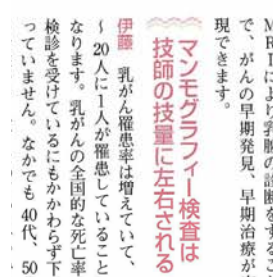
三愛病院では、乳がん検査ではマンモグラフィや3Dエコーに加えて、2010年8月にはMRI・5テスラを入れ替え、新MRIマンモグラフィをレベラアップした。これにPETを含めた総合診療をもとにより精度の高い乳がんの診断を行っている。

「触ってもわからない腫瘍も発見するのが検査です」

三愛病院では、かかりつけの患者さんの健康をすべしと診ようというのをモットーとしています。そのためにも、少しでも検査の精度を上げることが大切で、設備の充実とレベルの高い医師、技術者を確保しています。2010年8月、新ボリウムのMRI・5テスラに入れ替



え、MRIマンモグラフィにより鮮明になりました。
大島 乳がんの診断法はいろいろありますが、一般的には患者さんから症状を聞いて、触診をした後、腫瘍が疑われた場合は、3Dエコー（超音波）、X線によるマンモグラフィ、MRIマンモグラフィ、そして必要に応じて転移の検査も含めてPET・ボリウム断層撮影）という順番になります。



石井 MRIは頭部と内臓だけで、乳腺をやっていないところが結構あります。MRIマンモグラフィでは、数mmの小さながんが確認できる場合もあります。被曝も少ないため、若い方も安心して検査が受けられます。
大島 実際、乳がんを診断するのはむずかしいといえます。大きな腫瘍がある場合は比較的簡単ですが、触診でもわからない数mmの腫瘍をいかに発見できるかが一番大事です。診断には、それぞれ熟練を要します。

石井 マンモグラフィやエコー、MRIにより乳腺の診断をすることで、がんの早期発見、早期治療が実現できます。
大島 マンモグラフィ検査は、技術者の技量に左右される。乳がん罹患率は増えていて、18〜20人に1人が罹患していることになり、乳がんの全国的な死亡率は、検査を受けているにもかかわらず下がっていません。なかでも40代、50代



宮園 光 医師
1975年、熊本大学医学部卒業。乳がん専門医。三愛病院に勤務。乳がん検診担当。マンモグラフィ、超音波、PET検査。医師。博士。

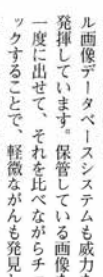
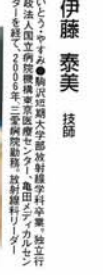
藤塚 規 副院長
1975年、熊本大学医学部卒業。乳がん専門医。三愛病院に勤務。副院長兼外科部長。乳がん検診担当。マンモグラフィ、超音波、PET検査。医師。博士。

から、30代くらいから任意検査という形で受診するなど、自分の体を大切にしたいですね。
検査でひっかかって、異常があるかもしれないという場合は、MRIマンモグラフィをおすすめしています。それが悪性なのか良性なのか、より精度の高い判断と線引きができるからです。マンモグラフィの場合は、技術者の技量に負う部分があります。技術が未熟だと、病気が見逃してしまっている患者さんは、乳腺の間がなが

隠れている場合、なかなか確認できません。新しいMRIによって、質的にもレベルアップし、客観的な判断ができるようになりました。造影剤を注入することで、腫瘍の広がりも確認できます。
宮園 マンモグラフィ、エコー、MRIマンモグラフィ、PET、そして穿刺吸引細胞診などにより確定診断を行っています。

石井 早期発見、早期治療をすれば、9割以上の方が命を落とさずに済みます。それが、がんの死亡率を下げることにつながります。腫瘍を早期に発見したほうが、心の負担も少なくなります。
大島 検査を受けても、がんかどうかはわからないという期間も、できるだけ短いほうがいいですね。マンモグラフィ

石井 早期発見、早期治療をすれば、9割以上の方が命を落とさずに済みます。それが、がんの死亡率を下げることにつながります。腫瘍を早期に発見したほうが、心の負担も少なくなります。
大島 検査を受けても、がんかどうかはわからないという期間も、できるだけ短いほうがいいですね。マンモグラフィ

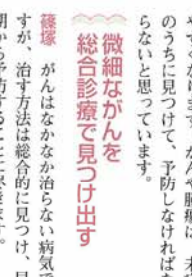


伊藤 泰美 技師
1975年、熊本大学医学部卒業。三愛病院に勤務。マンモグラフィ、超音波検査。技師。博士。

辻 直基 技師
1975年、熊本大学医学部卒業。三愛病院に勤務。マンモグラフィ、超音波検査。技師。博士。

石井 忠 技師
1975年、熊本大学医学部卒業。三愛病院に勤務。マンモグラフィ、超音波検査。技師。博士。

石井 忠 技師
1975年、熊本大学医学部卒業。三愛病院に勤務。マンモグラフィ、超音波検査。技師。博士。

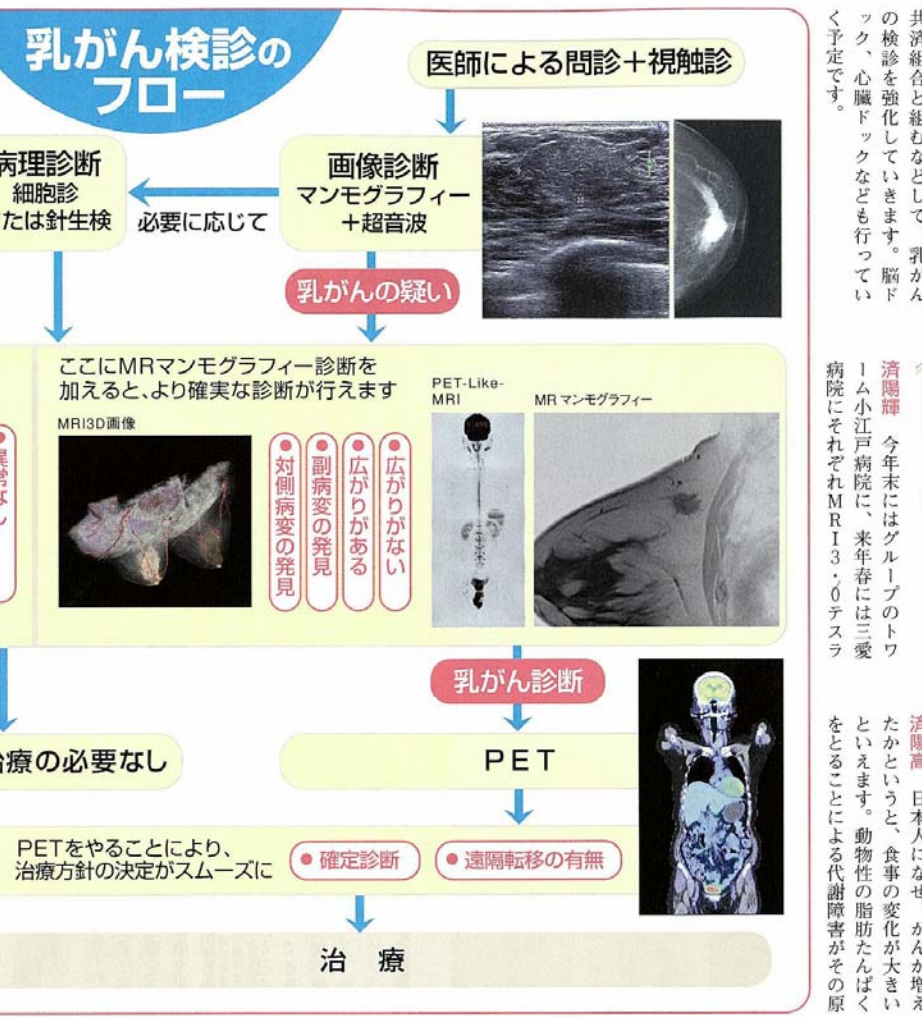


高性能のマンモグラフィ撮影装置

3Dエコーで乳房検査

MRI 5テスラで乳房も撮影

MRI 5テスラで乳房も撮影



石井 米年度、健診センターの設立を計画しています。健保組合や共済組合と組むなどして、乳がんの検査を強化していきます。脳ドック、心臓ドックなども行っていく予定です。

「1人でも救える命を救う」をモットーに
清陽 今年末にはグループのトワーム小江戸病院に、来年春には三愛病院にそれぞれMRI・5テスラを導入する予定で、設備も充実させていきます。
清陽 日本人になぜ、がんが増えたかという、食事の変化が大きいといえます。動物性の脂肪たんぱくをとることに由来する代謝障害がその原因です。がん難民といつか、手遅れに近いがんについても、PETのデータに基づいて食事指導による治療を行っています。
清陽 当院では、地域の「中核病院」として「1人でも救える命を救う」ことをモットーに、救急救命士の実習に協力しています。08年5月から10年10月までに、26名の救急救命士が講習を終了しました。乳がんでも、早期発見と早期治療により、1人でも救える命を救うことに貢献していきたいと思っています。

医療法人社団 松弘会
三愛病院
診療科目：外科、整形外科、脳神経外科、内科、循環器内科、消化器内科、リハビリテーション科、放射線科、形成外科、消化器外科、泌尿器科、麻酔科（済陽棟）、呼吸器外科、歯科、リウマチ科、心臓血管外科、皮膚科
診療時間：平日 9:00~17:00
土 9:00~12:00
休日：日・祝
〒338-0837
埼玉県さいたま市桜区田島4-35-17
TEL.048-866-1717(代)
FAX.048-866-1865
http://www.sanai.or.jp



一般病床126床の三愛病院